

**2025年3月期
第2四半期（中間期）決算**

説明資料

2024年11月7日（木）

2025年3月期
第2四半期（中間期）決算概要

連結対象会社

項目	2024年3月期末 (A)	2025年3月期 中間期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘 要
連結 子会社数	36社	35社	△1社	- 宇部愛科喜模高新材料（無錫）
持分法 適用会社数	16社	16社	0社	+ Sampo GmbH - 株式会社ユービーイーホテルズ
計	52社	51社	△1社	

環境要因

項目			2024年3月期 中間期 (A)	2025年3月期 中間期 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	141.0	152.6	11.6	
資材 価格	ナ フ サ	CIF	\$/ t	656	714	58
		国産	円/KL	65,550	78,000	12,450
	ベンゼン (ACP)		\$/ t	906	1,063	157
	豪州炭 (CIF)		\$/ t	208.3	162.0	△ 46.3
			円/t	29,362	24,726	△ 4,636

主要項目

(単位：億円)

項目	2024年3月期 中間期 (A)	2025年3月期 中間期 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	2,181	2,430	250	11.4%
営業利益	52	60	8	15.9%
経常利益	113	19	△ 94	△ 83.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	90	3	△ 87	△ 96.5%

セグメント別 売上高/営業利益

（単位：億円）

	セグメント	2024年3月期 中間期 (A)	2025年3月期 中間期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	機能品	313	317	4	1.3%
	樹脂・化成品	1,212	1,441	229	18.9%
	機械	427	430	4	0.9%
	その他	353	350	△ 3	△ 0.8%
	調整額	△ 124	△ 108	15	-
	計	2,181	2,430	250	11.4%
営業利益	機能品	57	50	△ 7	△ 12.2%
	樹脂・化成品	△ 24	△ 14	10	-
	機械	22	30	8	38.2%
	その他	15	17	3	20.0%
	調整額	△ 17	△ 22	△ 6	-
	計	52	60	8	15.9%

(注) 2025年3月期より、UBE America Inc.及びUBE CORPORATION AMERICA INC.を「その他」から「樹脂・化成品」へセグメント変更しています。

2024年3月期中間期の売上高及び営業利益は、変更後の区分方法により作成したものです。

差異分析 全社

(単位：億円)

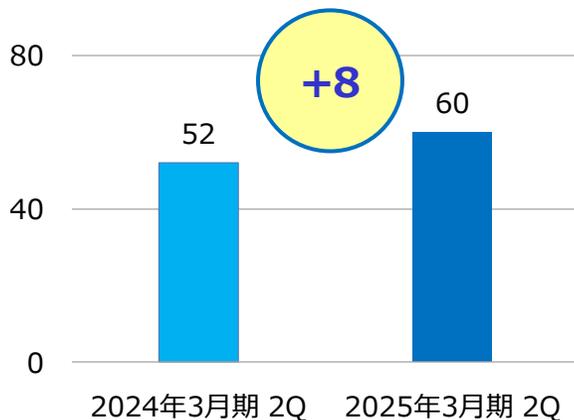
売上高



機能品	4
樹脂・化成品	229
機械	4
その他	△ 3
調整額	15

11.4% 増収

営業利益



機能品	△ 7
樹脂・化成品	10
機械	8
その他	3
調整額	△ 6

15.9% 増益

定性情報

売上高：増収

- 樹脂・化成品：ナイロンポリマー、カプロラクタム等の海外での販売数量増加及び販売価格上昇

営業利益：増益

- 樹脂・化成品：ナイロンポリマー、カプロラクタム等の販売が堅調
- 機械：機械製品の販売が堅調

営業利益差異

価格差 ※1	47
数量差	1
固定費ほか ※2	△ 39
計	8

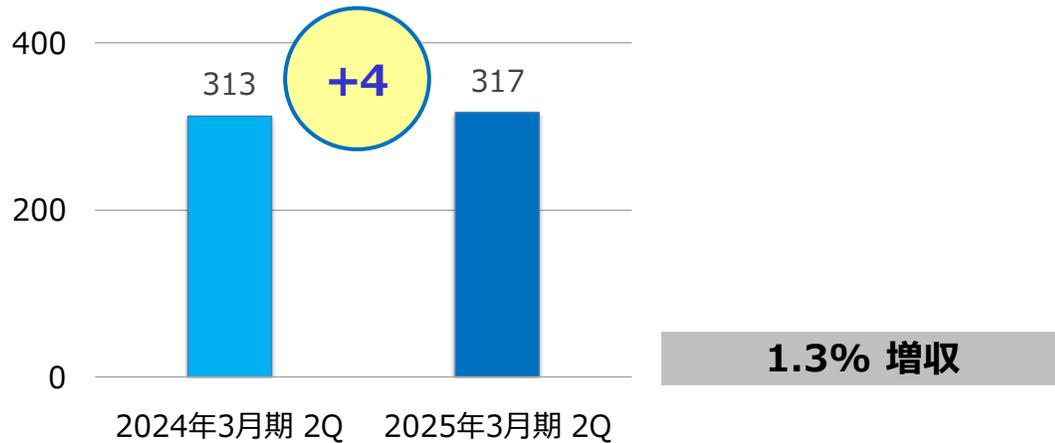
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

差異分析 機能品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- セラミックス：軸受や基板用途の需要が好調に推移
- セパレータ：ハイブリッド自動車向けの需要増加等に伴い販売数量が増加

営業利益：減益

- ポリイミドワニスの販売が低調

営業利益差異

価格差 ※1	7
数量差	2
固定費ほか ※2	△ 16
計	△ 7

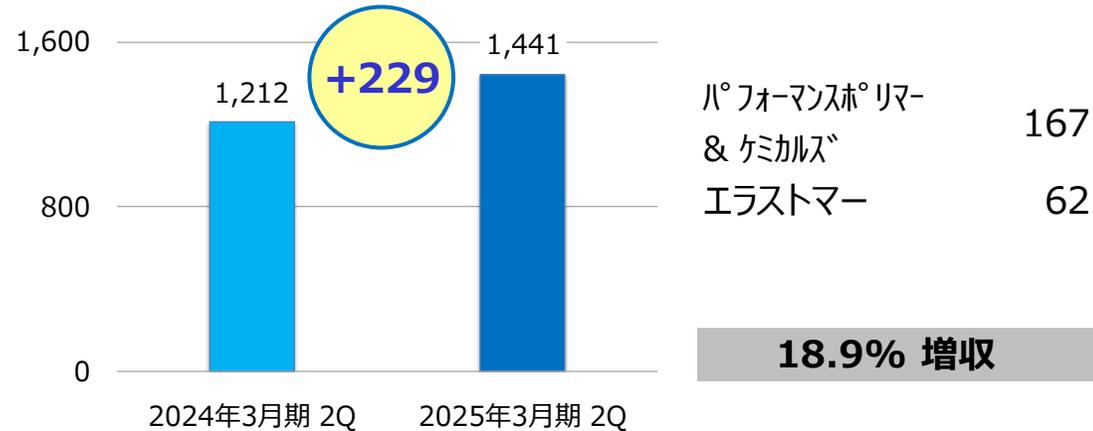
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

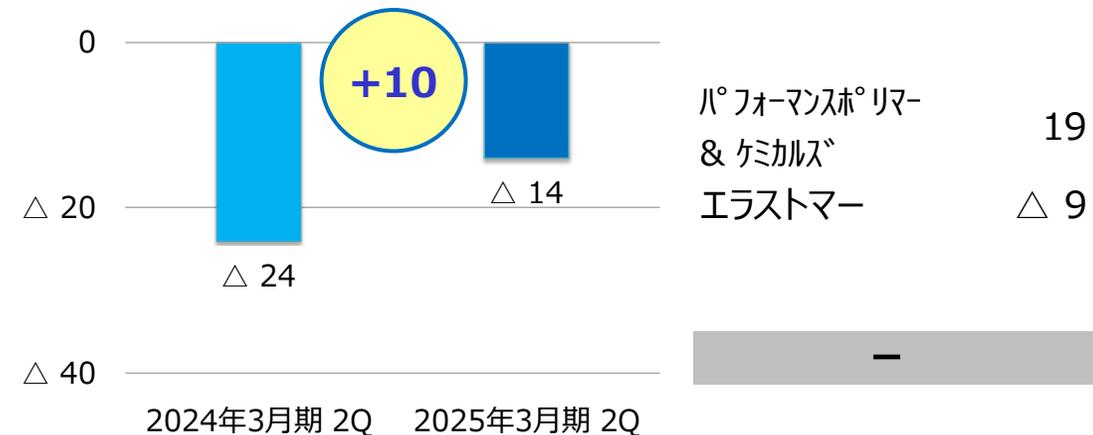
差異分析 樹脂・化成品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ナイロンポリマー : 海外での食品包装フィルム用途等の需要回復に伴う販売数量増加及び販売価格上昇
- ラクタム・硫安 : 海外で販売数量が増加、原料市況の上昇により販売価格も上昇

営業利益：増益

- ナイロンポリマー、カプロラクタムの海外市場での需要回復による販売数量増加及び販売価格上昇

営業利益差異

価格差 ※1	20
数量差	6
固定費ほか ※2	△ 16
計	10

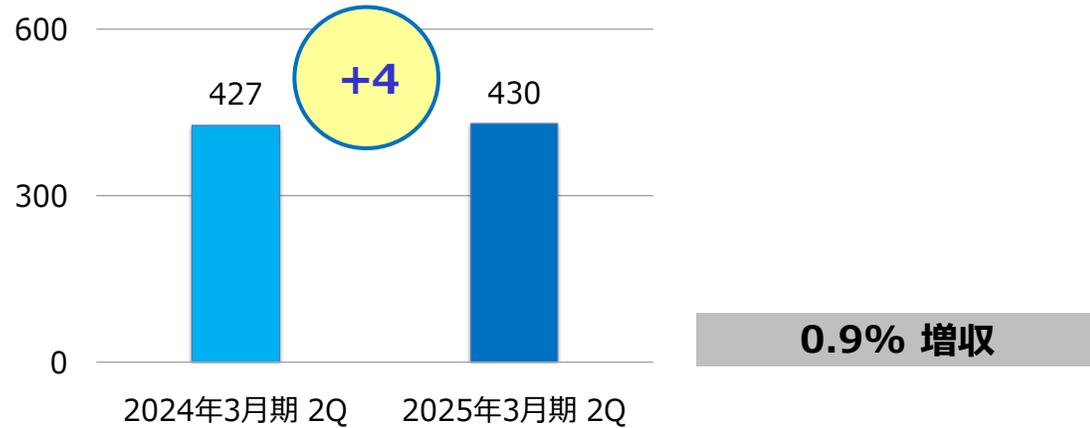
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

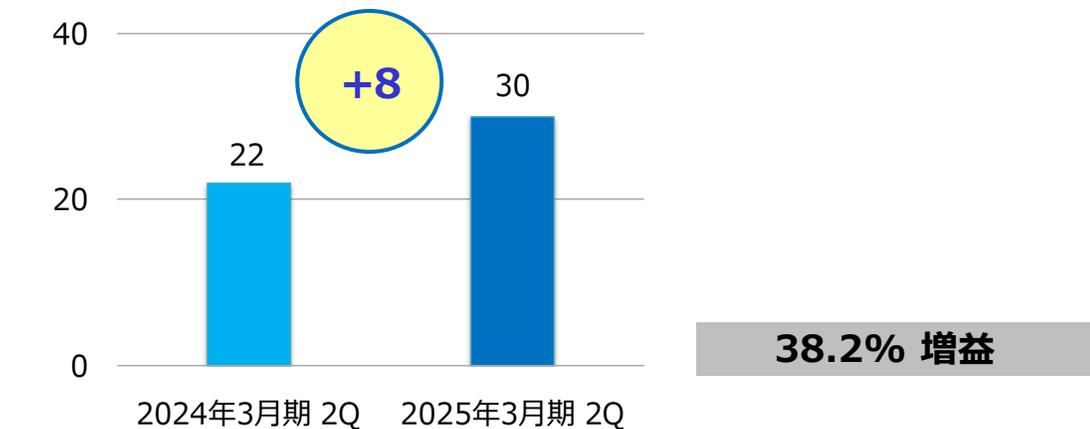
差異分析 機械

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- 成形機 : 北米において自動車産業向けの製品販売が堅調に推移
- 産機 : 製品の販売が堅調に推移

営業利益：増益

- 成形機のアフターサービスが好調
- 成形機、産機の製品販売が堅調

営業利益差異

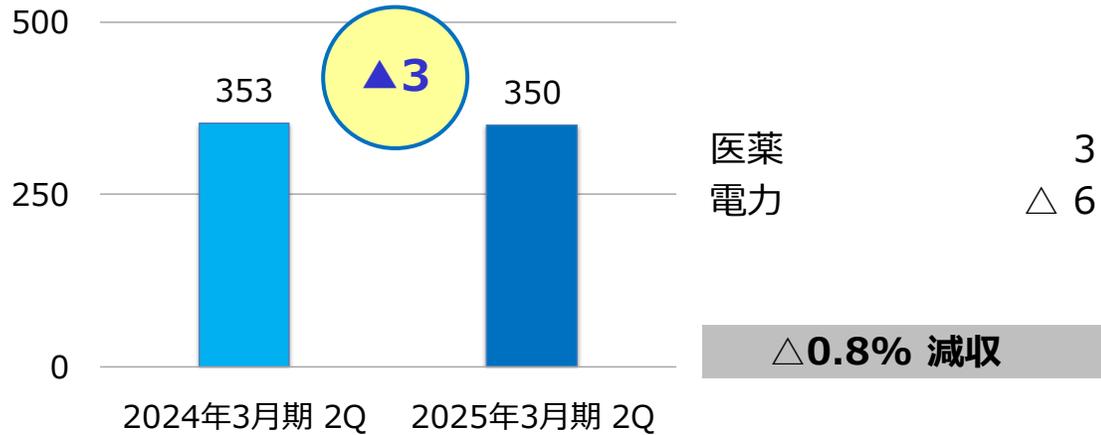
機械部門限界利益 19

(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

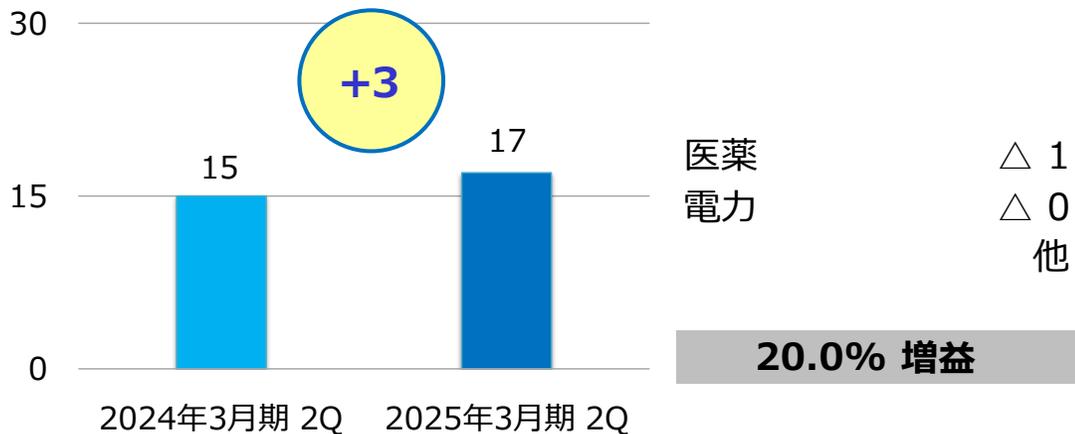
差異分析 その他

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- 電力 : セメント関連事業等における電力需要の減少により売電量が減少

営業利益：増益

- 販売会社が堅調に推移

営業利益差異

価格差 ※1	20
数量差	△1
固定費ほか ※2	△17
計	3

※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

営業利益～中間純利益

(単位：億円)

項目	2024年3月期 中間期 (A)	2025年3月期 中間期 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	52	60	8
営業外損益	61	△ 42	△ 102
金融収支	1	0	△ 1
持分法投資損益	59	△ 14	△ 74
うちUBE三菱セメント(株)に係る持分法投資損益	69	81	12
その他（LUSRに係る持分法投資損益*を含む）	△ 9	△ 95	△ 86
為替差損益	12	△ 13	△ 25
その他	△ 12	△ 14	△ 2
経常利益	113	19	△ 94
特別損益	△ 5	1	6
税金等調整前中間純利益	108	20	△ 88
法人税等・非支配株主利益	△ 18	△ 17	1
親会社株主に帰属する中間純利益	90	3	△ 87
1株当たり中間純利益	92.93円	3.28円	△ 89.65円

* LOTTE UBE SYNTHETIC RUBBER SDN. BHD.の解散に伴う損失及び期間損失

貸借対照表

(単位：億円)

項目		2024年3月期末 (A)	2025年3月期 中間期末 (B)	差異 (B) - (A)
資産	流動資産	2,957	2,867	△ 90
	固定資産	4,932	5,093	161
	合計	7,890	7,962	71
負債	有利子負債	2,134	2,390	256
	その他負債	1,462	1,368	△ 95
	計	3,597	3,758	161
純資産	自己資本*	4,087	3,991	△ 96
	非支配株主持分他	207	212	6
	計	4,294	4,204	△ 90
負債・純資産合計		7,890	7,962	71

*「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

キャッシュ・フロー計算書

（単位：億円）

項目	2024年3月期	2025年3月期	
	中間期	中間期	
A.営業活動によるCF	234	63	税金等調整前中間純利益 20 減価償却費 136 運転資金の増減 △24 法人税等の支払 △26 他
B.投資活動によるCF	△ 176	△ 331	有形・無形固定資産の取得 △318 他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	58	△ 268	
C.財務活動によるCF	△ 91	192	有利子負債の増減 253 配当金の支払 △61
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	△ 22	△ 73	
E.現金及び現金同等物の中間期末残高	285	286	

參考資料

主要項目 進捗率

(単位：億円)

項目	2024年3月期 (A)		2025年3月期 (B)		差異 (B) - (A)	
		中間期実績 (進捗率)		中間期実績 (進捗率)		中間期実績
売上高	4,682	2,181 (46.6%)	5,100	2,430 (47.7%)	418	250
営業利益	225	52 (23.2%)	270	60 (22.4%)	45	8
経常利益	363	113 (31.1%)	370	19 (5.1%)	7	△ 94
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	290	90 (31.1%)	295	3 (1.1%)	5	△ 87

売上高 四半期業績推移

(単位：億円)

セグメント	2025年3月期					累計	通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
機能品	151	166	—	—	317	700	45.3%	
樹脂・化成品	709	733	—	—	1,441	2,880	50.0%	
機械	192	239	—	—	430	1,040	41.4%	
その他	157	193	—	—	350	720	48.7%	
調整額	△ 55	△ 54	—	—	△ 108	△ 240	—%	
計	1,154	1,277	—	—	2,430	5,100	47.7%	

営業利益 四半期業績推移

(単位：億円)

セグメント	2025年3月期					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	22	28	—	—	50	125	39.7%
樹脂・化成品	1	△ 15	—	—	△ 14	95	—%
機械	10	20	—	—	30	70	42.5%
その他	3	14	—	—	17	20	87.1%
調整額	△ 7	△ 15	—	—	△ 22	△ 40	—%
計	29	31	—	—	60	270	22.4%

売上高 四半期比較

(単位：億円)

セグメント	2025年3月期 第1四半期 (A)	2025年3月期 第2四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	151	166	15	
樹脂・化成品	709	733	24	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 1 エラストマー 23
機械	192	239	47	
その他	157	193	36	医薬 32 電力 4
調整額	△ 55	△ 54	1	
計	1,154	1,277	123	

営業利益 四半期比較

(単位：億円)

セグメント	2025年3月期 第1四半期 (A)	2025年3月期 第2四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	22	28	6	
樹脂・化成品	1	△ 15	△ 16	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 27 エラストマー 11
機械	10	20	10	
その他	3	14	11	医薬 11 電力 1 他
調整額	△ 7	△ 15	△ 9	
計	29	31	2	

ポートフォリオ別 売上高/営業利益

(単位：億円)

	ポートフォリオ	2024年3月期	2025年3月期	差異 (B) - (A)	2025年3月期	進捗率
		中間期 (A)	中間期 (B)		通期予想	
売上高	スペシャリティ事業	738	751	14	1,725	43.6%
	ベーシック事業	932	1,132	200	2,175	52.0%
	機械事業	427	430	4	1,040	41.4%
	その他 (調整額を含む)	85	117	32	160	73.1%
	計	2,181	2,430	250	5,100	47.7%
営業利益	スペシャリティ事業	83	75	△ 8	240	31.3%
	ベーシック事業	△ 32	△ 23	9	10	—
	機械事業	22	30	8	70	42.5%
	その他 (調整額を含む)	△ 20	△ 21	△ 1	△ 50	—
	計	52	60	8	270	22.4%

UBE三菱セメント

■ UBE三菱セメント(株) 連結損益計算書

(単位：億円)

項目		2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2025年3月期 通期予想 *1
売上高	国内事業	2,061	1,885	3,840 (4,100)
	海外事業	928	1,003	1,880 (1,950)
計		2,989	2,888	5,720 (6,050)
営業利益	国内事業	35	78	160 (150)
	海外事業	180	200	300 (280)
計		216	278	460 (430)
経常利益		225	286	460 (420)
親会社株主に帰属する 中間純利益		130	156	220 (210)

■ UBE(株) 持分法投資損益

持分法による投資損益	69	81	110
------------	----	----	-----

■ UBE三菱セメント(株) 定量情報

項目		2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2025年3月期 通期予想 *1
セメント (国内総需要)	(万t)	1,739	1,634	3,300 (3,500)
セメント (国内) 販売数量	(万t)	415	387	800 (850)
セメント (米国) 販売数量	(万st)	93	84	170 (179)
生コン (米国) 販売数量	(万cy)	381	349	660 (704)
一般炭価格 (参考指標) *2	(\$ / t)	154	138	144 (180)
ドル為替レート	(円/ドル)	141	153	149 (145)

*1 () 内は2024年5月13日に公表した数値。

*2 上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考) 2025年3月期中間期 連結貸借対照表

(単位：億円)

総資産	7,911	有利子負債	1,650	自己資本	3,734
自己資本比率	47.2%	D/Eレシオ	0.44倍		

- 国内事業 (上期) 売上高は、環境エネルギー事業における販売数量の減少や石炭市況の下落による影響が大きく、減収となった。営業利益は、前年度に実施したセメント値上や熱エネルギー価格低下の効果によりセメント事業が改善し、増益となった。(通期) 下期は上期と同様の傾向で推移すると想定し、通期でも減収増益を見込む。
- 海外事業 (上期) 米国事業はセメント・生コンの販売数量が減少したものの、前年度に実施した値上効果や為替影響により、増収増益。豪州石炭事業は販売価格の下落等により、減収減益。海外事業全体では増収増益となった。(通期) 米国事業の下期は、販売数量は第4四半期で悪天候影響を受けた前期を上回るものの、コスト上昇等により増収減益。また豪州石炭事業も下期は増収減益。海外事業全体では、前期並みの営業利益を見込む。

連結主要指標

(単位：億円)

項目	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	2025年3月期通期 <予想>	2024年3月期通期
設備投資	128	269	810	361
減価償却費	130	136	270	266
研究開発費	51	49	100	103
事業利益	118	53	397	388
有利子負債残高	2,146	2,390	2,690	2,134
自己資本	3,817	3,991	4,240	4,087
総資産	7,433	7,962	8,500	7,890
D/Eレシオ (倍)	0.56	0.60	0.63	0.52
自己資本比率(%)	51.3	50.1	49.9	51.8
売上高営業利益率(%)	2.4	2.5	5.3	4.8
総資産事業利益率(%)	—	—	4.8	5.1
自己資本当期純利益率(%)	—	—	7.1	7.5
投下資本利益率(%)	—	—	4.8	4.7

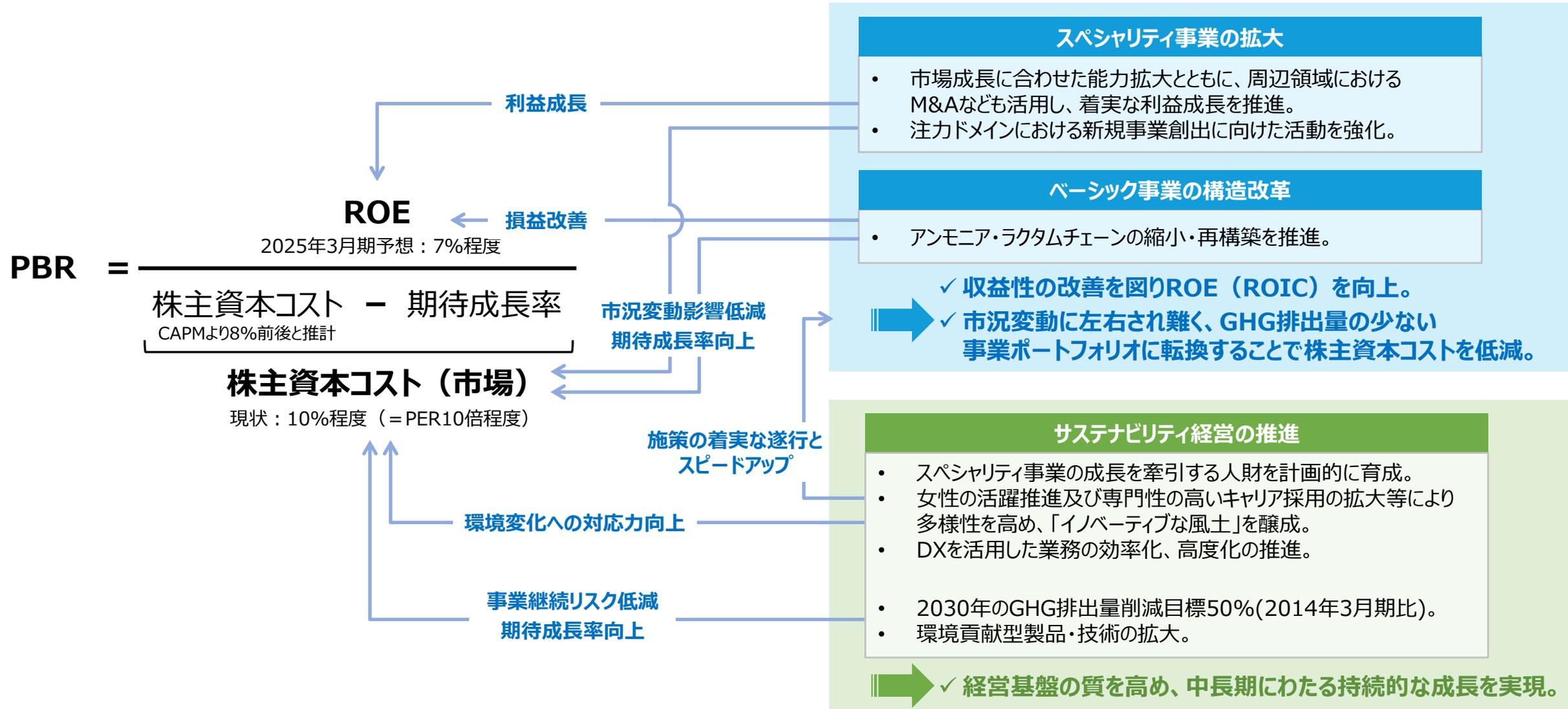
主要連結子会社

(単位：億円)

会社名	事業内容	売上高 2025年3月期 中間期	営業利益 ^{*2} 対2024年3月期 中間期
UBE CORPORATION EUROPE S.A.U.	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安、C1ケミカル、高機能コーティング、その他製品の製造・販売	329	↑
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安の製造・販売	280	↑
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエン（合成ゴム）の製造・販売	120	↓
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	55	↓
宇部エクシモ株式会社	ポリプロピレンの成形品、繊維、FRP製品、電子・情報材料の製造・販売	58	→
UBEマシナリー株式会社	成形機、産業機械、橋梁等の製造・販売 成形機、産業機械のアフターサービス	229	↑
株式会社宇部スチール ^{*1}	圧延用鋼塊ビレット、鋳鋼品・鋳鉄品の製造・販売	119	↓

*1 2024年11月1日付でアイ・シグマ・キャピタル株式会社へ経営権を譲渡

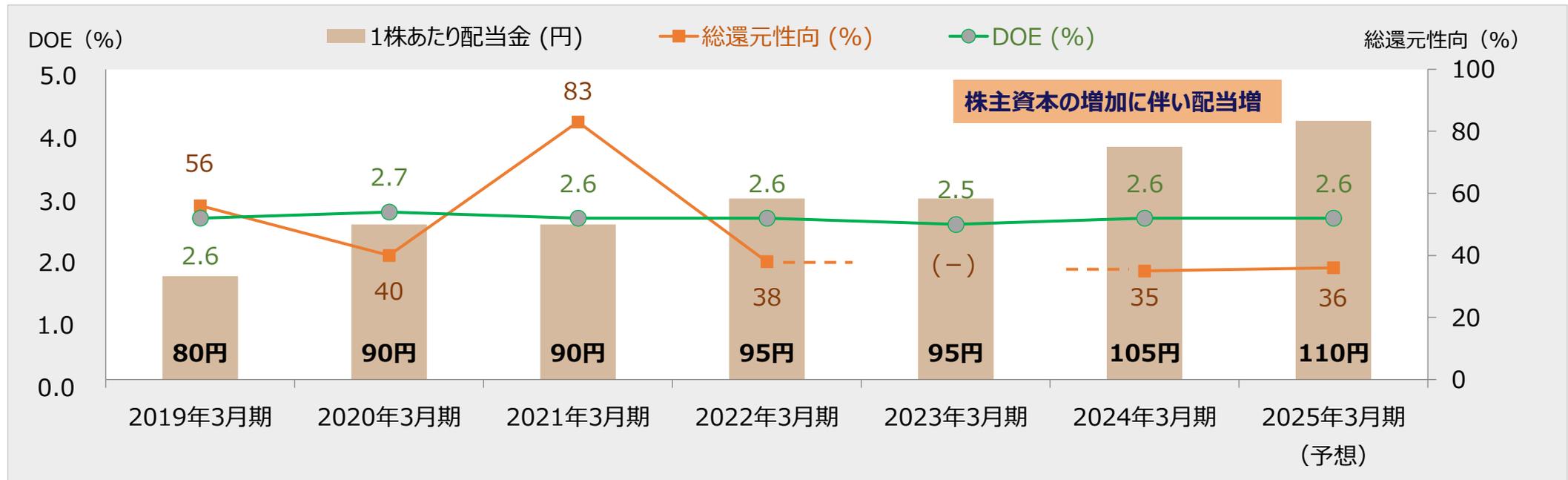
*2 ↑↓は1億円以上の増減を示す



株主還元

- 安定的な配当の継続を基本方針とする。
- 積極的な設備投資で利益・株主資本の増加を図り、将来の株主還元の更なる充実を目指す。

DOE (株主資本配当率) 2.5%以上
連結総還元性向 30%以上 (3カ年平均)



※ 総還元性向：自己株式の取得（2019年3月期 100億円、2021年3月期 100億円（実施は2022年3月期））を含む

定常的な損益変動要因

時期	セグメント	要因
第1四半期	樹脂・化成品	アンモニア工場（宇部地区）で隔年（偶数年）に定期修理を実施。 工業薬品事業の営業利益にマイナス影響。
	全社	自家発電設備（宇部地区）で隔年（偶数年）に定期修理を実施。 全社の営業利益にマイナス影響。
第2四半期後半 ～第3四半期	樹脂・化成品	ナイロン原料カプロラクタムの販売数量が衣料品の秋・冬物需要の影響を受け増加。 カプロラクタム事業の営業利益にプラス影響。
第4四半期	樹脂・化成品	合成ゴム工場（千葉地区）で毎年定期修理を実施。 エラストマー事業の営業利益にマイナス影響。
	機械	売上、利益の計上が集中。 成形機、産機事業の営業利益にプラス影響。

● UBE株式会社

➤ 2025年3月期 第3四半期 決算発表

- ・ 2025年2月5日 15 : 30

➤ 2025年3月期 第3四半期 アナリスト・機関投資家向け決算説明会

- ・ 2025年2月5日 18 : 00 ~ 18 : 45

● UBE三菱セメント株式会社

➤ 2025年3月期 第2四半期 (中間期) 決算説明会

- ・ 2024年11月19日 16 : 00 ~ 16 : 40

なお、この予定は都合により予告なく変更となる可能性があります。

UBE Transform Tomorrow Today

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用などを行うことはできません。